

## 市民向け講演会

# 日本海で進みつつある環境の変化 ～その驚くべき実態に迫る～

2018年1月21日(日) 参加費 **無料** (定員 100名)

開演：13:30 (開場：13:00)

新潟大学駅南キャンパス  
ときめいと 会議室 A 及び B  
(新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1・2階)

主催 国立研究開発法人国立環境研究所  
共催 新潟大学 理学部

このポスターの背景に使用している写真は観測船上で撮影した日本海の夕焼けです。きれいに見える日本海も、科学の目で見つめると、その奥に忍び寄る温暖化の影響が浮かび上がってきます。

私たち、国立環境研究所の研究グループは、長年にわたり温暖化に伴う日本海への環境影響について研究して参りました。今回は、新潟大学のご協力のもと、日本海の環境変化に関する最先端の研究者をお招きして、最新の研究成果をご紹介します市民向け講演会を企画しました。

日本海の過去・現在・未来の姿について、日本海を望む新潟市民の皆様と共にじっくりと考え、様々なご意見を伺える機会となることを願っています。

13:30～13:35 開会挨拶・趣旨説明

国立環境研究所 荒巻 能史

13:35～14:15

### ミニ大洋・日本海

- 忍び寄る温暖化の影を追う -

国立環境研究所 荒巻 能史

14:15～14:45

### 日本海の温暖化

- 植物プランクトンから始まる  
海洋生態系への影響 -

海洋研究開発機構 松本 和彦

15:00～15:30

### 海洋化学研究のフロンティア

- 一千億分の1の痕跡元素から海を探る -

新潟大学理学部 則末 和宏

15:30～16:00

### 減り続けるスルメイカ資源

- その要因と今後の動向 -

函館国際水産・海洋都市推進機構  
函館頭足類科学研究所 桜井 泰憲

お問い合わせ

国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター 炭素循環研究室 TEL 029-850-2124 (担当：荒巻)